

平成 30 年度

社会福祉法人 ほほえみ会  
事業報告書

特別養護老人ホーム雅荘（介護老人福祉施設）

短期入所生活介護雅荘（短期入所生活介護）

スマイルケア居宅介護支援事業所

スマイルケア訪問介護事業所

事業報告書

特別養護老人ホーム雅荘 入居（70 名）	【事業開始日：平成 23 年 11 月 10 日】
短期入所生活介護（ショートステイ）（10 名）	【事業開始日：平成 23 年 11 月 10 日】
スマイルケア居宅介護支援事業所	【事業開始日：平成 29 年 8 月 1 日】
スマイルケア訪問介護事業所	【事業開始日：平成 29 年 8 月 1 日】

● 基本方針

施設は、入居者一人一人の意思及び人格を尊重し、施設サービス計画に基づき、その居宅における生活への復帰を念頭において、入居前の居宅における生活と入居後の生活が継続したものとなるように配慮しながら、各ユニットにおいて入居者が相互に社会的関係を築き、自律的に日常生活を営むことを支援しめざすものとします。

● 法人理念

「自分らしく今を生きる」

人は誰しも自分らしく生きたいと願っている。

体が不自由になっても、何らかの障害をうけても差別・偏見をされることなく、自分の思いの生活を送りたいと望んでいるはずである。

この望んでいる生活をどのようにしたら送っていけるかを常に考え、法人の運営に取り組んでまいりたい。

● 施設理念

一、「自分が入居者だったら…」ということを常に考えて支援していきます。

一、「入居者の暮らしの場である」との意識で支援していきます。

一、「ここで生活して本当によかった」と思ってもらえるよう支援していきます。

● スマイルケア理念

一、信頼されるサービスの提供。

一、法から逸脱しないサービスの提供。

一、地域に根ざしたサービスの提供。

● 心得・行動姿勢

さ・・・さわやかな行動

し・・・親切な行動

す・・・スピーディーな行動

せ・・・誠実な行動

そ・・・率先垂範な行動

【 特別養護老人ホーム雅荘入居状況 】

● 年間入居者数【月末在所者数】入所定員 70 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	14	14	14	14	14	14	14	15	14	15	15	15	172
女	54	55	56	55	54	54	53	54	54	53	54	54	650
合計	68	69	70	69	68	68	69	69	68	68	69	69	824
月平均%	95.3	95.6	98.2	98.7	94.6	95.8	95.9	97.3	97.9	94	96	96.1	96.3

● 要介護度・男女別 (平成 31 年 3 月末時点)

	男性	女性	計
要介護 1	0	0	0
要介護 2	0	2	2
要介護 3	6	14	20
要介護 4	3	22	25
要介護 5	6	16	22
計	15	54	69

● 月平均介護度 (入居)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月平均介護度	3.9	3.9	3.9	3.9	4	3.9	3.9	4	4	3.9	4	4

● 年齢別・男女別 (平成 31 年 3 月末時点)

年齢	男性	女性	合計
65歳未満	0	1	1
65～69歳	0	0	0
70～74歳	4	0	4
75～79歳	0	2	2
80～84歳	3	4	7
85～89歳	3	16	19
90歳以上	5	31	36
計	15	54	69
平均年齢	84.1	90	88.7

●保険者（平成 31 年 3 月末時点）

市町村	入居者数	特定入居者数
つくばみらい市	40	27
常総市	9	6
取手市	2	1
つくば市	5	4
守谷市	9	8
江戸川区	2	1
武蔵野市	1	0
町田市	1	0
合計	69	47

● 入退居状況

\* 30 年度退居者

・ 他界者（14 名、内 12 名看取り）・長期入院（4 名）

合計（18 名）

\* 23 年度（4 名退居）・24 年度（15 名退居）・25 年度（7 名退居）・26 年度（20 名退居）

27 年度（24 名退居）・28 年度（20 名退居）・29 年度（15 名退居）・30 年度（18 名退居）

合計（123 名）

\* 30 年度入居者

合計（19 名）

\* 23 年度（74 名入居）・24 年度（15 名入居）・25 年度（7 名入居）・26 年度（20 名入居）

27 年度（20 名入居）・28 年度（20 名入居）・29 年度（18 名入居）・30 年（19 名入居）

合計（193 名）

●面会者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	223	241	218	226	215	214	248	190	210	97	84	101	2267
人数	345	356	309	325	330	339	358	290	316	157	120	147	3392

・ 12 月 20 日から 3 月末にかけて面会お断りし入居者への感染を防ぐ取組を行いました。

【 短期入所生活介護ショートステイ状況 】

● ショートステイ利用延べ人数(毎月末現数)定員 10 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用可能数	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	280	310	3650
男	43	47	25	10	35	26	40	57	66	75	71	45	540
女	226	226	213	268	269	258	228	179	163	158	146	225	2559
合計	269	273	238	278	304	284	268	236	229	233	217	270	3099
稼働率%	90.0%	88.0%	80.0%	90.0%	98.0%	95.0%	88.0%	79.0%	74.0%	75.0%	78.0%	88.0%	90.5%

「延人員」とは2泊3日利用の場合、3日でカウントしております。

\* 空床利用者数も含んでおります。

● ショートステイ利用実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	2	2	2	1	3	3	3	4	5	6	4	3	38
女	12	12	14	17	15	16	18	16	13	13	14	15	175
合計	14	14	16	18	18	19	21	20	18	19	18	18	213

● ショートステイ月平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月平均介護度	3	3.4	3.5	3.7	3.9	3	3.5	3.6	3.2	2.6	3.4	3.5

● ショートステイ利用状況(昨年対比)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年度	311	317	288	267	276	282	297	236	254	257	238	282	3,305
2018年度	269	273	238	278	304	284	268	236	229	233	217	270	3,099
昨対比(%)	86.50%	86.12%	82.64%	104.12%	110.14%	100.71%	90.24%	100.00%	90.16%	90.66%	91.18%	95.74%	93.77%

● ショートステイ送迎状況(回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
送迎回数	13	17	13	15	20	16	17	20	16	13	18	17	195

● 雅荘 職種別職員数 (平成 30 年度)

(1) 入退職状況

① ユニットリーダー

【退職】 常勤…0名 【採用】 常勤…0名

② 介護職

【退職】 常勤…1名 【採用】 常勤…0名  
 常勤パート…3名 常勤パート…1名  
 パート…5名 パート…8名

③ 看護職

【退職】 常勤…0名 【採用】 常勤…0名  
 パート…0名 【採用】 パート…0名

④ 管理栄養士

【退職】 常勤…0名 【採用】 常勤…0名

⑤ 宿直者

【退職者】 0名 【採用】 0名

⑥ 掃除専門スタッフ

【退職者】 0名 【採用】 0名

※30年度退職者(9名)・入職者(9名)

(2) 現在の職員数 (平成 31 年 3 月末時点)

職種	勤務形態	常勤職員	常勤パート	パート	合計
施設長		1	0	0	1
事務長・生活相談員		1	0	0	1
ケアマネージャー	1 (看護師兼務)	0	0	0	1
管理栄養士		1	0	0	1
看護職員		2	0	2	4
ユニットリーダー		8	0	0	8
介護主任兼リーダー		1	0	0	1
介護職員		11	6	48	65
事務員		0	0	1	1
地域包括		0	1	0	1
宿直者		0	0	2	2
掃除専門スタッフ		0	0	3	3
合計		25	7	56	88

### ●運営会議の開催報告（4月・5月・6月開催）

ご入居者様の良き生活の場とするため、各職種が出席し会議の中で意見を交わしながら提供しているサービスの内容等を確認しながら、具体的な問題や課題を取り上げながら事実関係や問題を引き起こしている原因を話し合い、未来に向けての解決策を検討しております。サービスとしての要望や助言を踏まえ、サービスの質の確保や向上に取り組み、職員の業務内容の改善や提供方法を考えながら各職種と連携を図り運営会議を実施して参りました。

### ●リーダー会議の開催内容報告（隔月）（安全衛生委員会・防災委員会：必要時同時開催）

雅荘は全個室のユニット型ケアです。

各ユニット毎に職員が工夫して、入居者の暮らしの場を提供していくのですが、その中でも施設内の統一したケアも忘れてはいけません。

そのために、定期的にユニットリーダーが集まり、施設長・介護主任・施設ケアマネ・看護師・生活相談員・管理栄養士とともに、話し合いをしています。

私たちのお仕事は人を相手にしています。ですので、日々、対応が変わります。

変わったことの確認、統一を図り、さらに居心地良い環境作りに取り組んでおります。

- ・記録書類の保管、施設全体の行事、委員会、情報交換、勉強会、24Hシート、緊急時対応、看取り介護、ケース記録見直しについて等。
- 各種委員会からの報告、連絡。施設の災害対策等について。

### ●ユニット会議の開催内容報告（必要時各ユニットで開催）

各ユニットに固定配置された顔なじみの介護スタッフが、入居者の個性や生活リズムを尊重した暮らしをサポートします。入居者一人ひとりの個性や生活リズムに応じて暮らしていけるようにサポートする介護手法をスタッフとともに話し合いをしています。

- ①理念の確認。
- ②日程確認。
- ③事故・ヒヤリハット報告。
- ④身体拘束者の評価・見直し。
- ⑤パット使用の評価・見直し。
- ⑥ユニット費報告。
- ⑦ユニットケアの取り組みについて。
- ⑧ケア会議。
- ⑨その他。

上記の項目に沿ってユニット会議の運営を進行しました。

### ●リーダー研修会の開催（平成30年3月から2ヵ月に1回開催）

ユニットケアの理念と意義、高齢者の生活とその環境、ユニットケアの具体的手法、ユニットケア導入などを学ぶ。ユニットリーダー同士の共通認識を深めるため開催しました。

### ●看護師ナースミーティング開催内容報告（毎月）

高齢者ともなれば、いつ、どのように体調が変化するかは誰にもわかりません。そんな状態にある高齢者の体調の変化を素早く発見し、病気や怪我の早期発見、早期治療を目的として業務に当たっています。看護師の役割は体調管理であり、多くの高齢者が安心して施設での生活を送れるようにサポートするためにスタッフとともに話し合いをしています。

（看護業務について）・健康管理（バイタル測定、血糖値測定）

- ・医薬品管理・留置バルーンの交換対応・インシュリン注射・酸素管理
- ・吸引、口腔ケア・褥瘡ケア・胃ろう管理・緊急時の対応（医師や家族への連絡、同行）
- ・応急手当・介護スタッフに対しての相談と対応・施設内の衛生管理等

## ● 医務からの主な実績報告（30年度）

入居者様に対する日々の健康管理や処置・通院の業務を実施して参りました。又、入居者様の体調変化が発生した時は、嘱託医に相談するなど早期発見、症状に対する処置を行いました。

- ① 入居者の健康診断、レントゲン撮影（69名）
- ② 入居者のインフルエンザ予防接種（72名）
- ③ 入居者の外来受診（123件）
- ④ 入居者の褥瘡処置（58件）※ショートステイ利用者の処置のみ。入居者なし。
- ⑤ 入居者の一般処置（777件）※処置表に基づく処置数（④を含む）
- ⑥ 入居者の看取り介護（12件）

## ● 委員会活動の開催状況報告

### 褥瘡予防委員会（6月・3月）の開催報告

- ・OHスケール評価、褥瘡発生者について、オムツの当て方勉強会、体位交換等、エアーマットについて、指針の見直し、勉強会について。

### 給食委員会（5月・8月・11月・2月）の開催報告

- ・残飯量の報告、献立表についてユニットからの意見確認、食事についてのユニットからの意見確認。イベントメニュー、嗜好調査、非常食について。

### 身体拘束防止委員会（5月・8月・10月・11月・3月）の開催報告

- ・各ユニットでの状況。身体拘束継続者、開始者について検討。中止に関して。身体拘束指針の見直しについて検討。勉強会について。名簿の見直し。アンケート調査。

### 事故防止検討委員会（4月・7月・10月・11月・3月）の開催報告

- ・事故報告、事故報告書の対象について、機械浴・個室・ベッド、（車椅子移乗時の介助方法）、離苑対策、服薬チェック表について、ヒヤリハット報告。マニュアル見直しについて、離設時の行動手順作成について。

### 感染症対策委員会（5月・7月・11月・12月・2月）の開催報告

- ・感染症保有者一覧状況について、インフルエンザ対策について、入居者ご家族の面会制限について、感染リネン物の出し方について、クレベリンゲル使用について、マスク着用について、加湿器開始について、消毒について、嘔吐処理セット管理について。

### 【感染予防対策】

- ・予防対策として手指消毒の徹底、手すりの消毒実施
  - ・流行時期（11月から3月）のマスク着用、職員出勤時、手洗いとうがい、消毒の徹底
  - ・12月20日から3月末にかけて面会お断りし入居者への感染を防ぐ取組を行いました。
- ※感染症流行の情報をいち早く収集し、施設全体で早期に予防対策に取り組めたことは職員の意識向上につながったと思われる。

## 渉外委員会（毎月）の開催

各月のイベント立案、反省、今後の予定、ボランティアの受入れの反省、レクリエーションの反省等。

### 【渉外（ボランティア）等の実施状況】

H30.4.13	大正琴演奏会（1階）
H30.4.19	三味線演奏会（2階）
H30.5.13	なっちい&ブルーマウンテンズ（2階）
H30.5.20	お茶会（2階）
H30.5.27	お茶会（1階）
H30.6.24	のど自慢大会（1階）
H30.7.12	三味線演奏会（2階）
H30.8.9	ハーモニカ演奏会（2階）
H30.9.23	小運動会（2階）
H30.9.30	小運動会（1階）
H30.10.8	太鼓演奏会（1階）福岡盆踊り保存会
H30.11.10	大道芸鑑賞会（1階）
H30.11.11	大道芸鑑賞会（2階）
H30.11.18	ハーモニカ演奏会（1階）
H30.12.6	三味線演奏会（2階）
H31.1.8	お茶会に獅子舞がやってくる（1階）
H31.1.9	お茶会に獅子舞がやってくる（2階）
H31.2.3	節分・豆まき

### ●施設全体行事

施設全体を通しての行事を下記の通り実施いたしました。

月別	行事名	備考
5/22	避難訓練	総合訓練等
6/18	健康診断	職員
12/8	健康診断（レントゲン）	入居者
3/29	避難訓練（夜間想定）	総合訓練・AED使用方法
12/8	健康診断（夜勤者のみ）	職員
12/13・12/17	職員忘年会（雅荘）	職員の親睦と交流を目的
12/6	職員忘年会（スマイルケア）	職員の親睦と交流を目的

※各ユニットの行事については、各ユニットでイベント企画を計画し実施いたしました。

## ●施設設備点検等実施状況

H30.4.20	消防用設備点検実施
H30.5.16	電気工作物月次点検実施
H30.6.7	エレベーター点検実施（通常保守点検）
H30.7.7	電気工作物月次点検実施
H30.9.1	防火管理・消火設備等の自主点検
H30.9.6	電気工作物月次点検実施
H30.9.20	エレベーター点検実施（法定定期検査）
H30.10.23	消防用設備点検実施（結果所轄消防署へ提出）
H30.11.1	電気工作物月次点検実施
H30.12.6	エレベーター点検実施（通常保守点検）
H31.3.7	エレベーター点検実施（通常保守点検）

## ●苦情等の報告

＜苦情報告＞			
苦情内容	苦情内容の調査・原因	今後の対応	苦情日時
「ショートスティ利用者の薬がきちんと飲まれていないのではないか」と担当ケアマネージャーより話があった。	きちんと処方通り服用されていたが、御家族が追加でセットした分の薬（排便を促す薬）が残ってしまった。	御家族からの伝言をきちんと職員に伝えていく。	H30.4.20
「ナースコールを2回押したのに職員さんが来てくれなかった」と、入居者本人より話があった。	ナースコールが鳴るとPHSに居室番号が表示されるが、その居室番号を間違えてしまい（居室8→居室6）、居室に行ってみるとコールランプがついていなかった。	PHSに表示されている居室番号をきちんと確認するとともに、訪問した居室でコールが鳴っていなかったら、他の居室を見て回り対応していく。	H30.4.30
「ケアプランに気分転換の為、車椅子での散歩を行う。と明記してあるが、実際には行われていないのではないか？」と、御家族より話があった。	ケアプランに気分転換の為、散歩の実施とあるが、実際には本人体調が悪かったり、寝ていたいとの希望があったりしたため、散歩の実施はできていなかった。	ケアカンファレンスを開き、本人の状況にあった支援の取り組みを行っていく。	H30.6.25
救急搬送された入居者が入院せず帰荘される際、タクシーで帰るのはおかしいと、御家族より話があった。	「帰荘の際は施設の車で迎えに行くと職員さんが言った」と御家族は話されていたが、職員はそんなことは言ったかわからないとのことだった。	救急搬送で入院にならなかった際の送迎方法を決めておく。	H31.1.3
「面会に来た際、職員の言動で不快な思いをした」と御家族より話があった。	御家族に話をした職員に確認したところ、「嫌な思いを御家族にさせるつもりはなかったが、私の言い方が不快な思いをさせてしまったかもしれない」と話されていた。	御家族の思いや要望を聞きながら、できるところから行っていく旨を伝えるとともに、御家族への言動には十分気をつけていく。	H31.3.25

## ●理事会・評議員会実施状況報告

	実施日	実施日	実施日
理事会	平成30年6月12日	平成30年11月19日	平成31年3月15日
評議員会	平成30年6月26日	平成30年11月29日	平成31年3月28日

## ●評議員選任・解任委員会報告

平成30年度については評議員選任・解任委員会の開催はありませんでした。

●入居検討委員会（4月・7月・9月・10月・1月）実施。

上記の月に入居検討委員会を実施致しました。茨城県特別養護老人ホーム入居指針により、入居対象者は要介護3以上と認定された方及び特例的な施設入居が認められる方となりました。雅荘の入居基準に基づき、入居検討委員会の審議を経て順位を決定しています。

【 入居申込み者数 】

申込み待機者数 （平成31年3月末時点）

介護度	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	申請中	合計
申込者数	6	5	6	6	2	0	25

\*開設からの入居申込み者数 （ 461名 ）

- ・ 内、入居された方 （ 192名 ）
- ・ 待機中、他の施設への入居や他界されたことによる申込みのキャンセル数 （ 244名 ）

研修に関する実績（施設外研修）

5月	相談員	県南、土浦ブロックケアマネージャー研究会
6月	包括職員	高齢者虐待対応現任者標準研修（社会福祉士会）
6月	管理者	介護支援専門員更新研修（介護労働安全センター）
6月	介護職員	アンガーマネジメント技法研修（介護労働安定センター）
7月	事務	社会福祉施設経営実務セミナー（会計処理）
7月	介護職員	介護記録集中研修（お茶の水ケアサービス学院）
8月	ケアマネ	介護支援専門員専門研修（ケアマネジャー協会）
9月	介護職員	アンガーマネジメントAコース研修（茨城県社会福祉協議会）
9月	介護職員	ユニットリーダー研修（日本エリカ推進センター）
10月	事務	介護ストレスマネジメント（介護労働安全センター）
10月	管理者	施設長・管理者研修会（茨城県老人福祉施設協議会）
10月	介護職員	接遇・コミュニケーション技術向上研修会（茨城県老人福祉施設協議会）
11月	ケアマネ	県南、土浦ブロックケアマネージャー研究会
11月	包括職員	茨城県地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会実務者研修会
11月	包括職員	ストレスチェック制度に係る研修会
11月	介護職員	高齢者虐待防止フォーラム研修会
11月	事務	社会福祉施設経営実務セミナー（会計処理）
11月	事務	社会福祉法人会計研修会
11月	管理者	技能実習生受入れの雇用管理研修（介護労働安全センター）
11月	介護職員	個別ケアとケアプラン研修会（茨城県老人福祉施設協議会）
11月	包括職員	茨城県地域包括在宅看護連絡協議会実務者研修
1月	介護職員	ユニットケア施設管理者研修（日本エリカ推進センター）
1月	管理者	メンタルヘルスケア研修会（茨城県老人福祉施設協議会）
2月	管理者	ふれ愛パートナーシップ連絡会（情報交換会）
2月	事務	年金委員・健康保険委員合同研修会
3月	管理者	つくばみらい市共同募金委員会
3月	包括職員	つくばみらい市症例検討会
各月	介護職員	喀痰吸引等研修（茨城県地域密着型介護サービス）

### ●雅荘 リハビリ庭園について

・入居者の日常生活のリハビリを目的とし、日常生活動作の自立、身体機能回復、心身機能維持、重度化の予防対策、日常生活の自立を目指し生きがいのある人生を過ごしていただけるように、屋内生活だけではなく屋外にもでながら家庭的な環境で生活を送れるように、リハビリ庭園を活用し日常生活のリハビリにも取り組みました。

### ●雅荘 自立支援農園について

・日常生活支援の充実のため、入居者と職員、又は、地域ボランティアの方や理事の皆様と一体となって農作物を作り、作る楽しみ、育てる楽しさ、収穫の喜び、他者との交流、を図って、季節感のある農作物等を植えて収穫を楽しみ、家庭的な生活の場を取り入れて良質のサービスを提供することに努めました。

(農作物) スイカ・メロン・みかんの木・ブルーベリー・柿等

### ●地域包括支援センター事業についての報告

つくばみらい市地域包括支援センターの業務を受け、相談業務を実施し、各機関と連携を図り相談者の状況に応じて迅速に対応して参りました。ランチ会議へ参加し、各地区の担当者様と連携をとりあいながら情報の共有を行い、高齢者世帯と独居世帯の実態把握に努め、訪問を行っております。

今年度は、超高齢化社会に比例して 65 歳以上の高齢世帯・独居世帯の安否確認把握訪問が延 274 と大幅に増加しました。市主催の会議等として毎月定例のランチ会議、隔月開催の地域ケア会議、民生委員児童委員との意見交換会、福祉関連研修会も適宜参加しました。

ランチ報告件数 (主な相談活動、受付・対応等)

電話	訪問	来所	連携	文書	相談表 作成	居宅 紹介	代行 申請	実態 把握訪問
43	49	5	15	0	54	15	9	311

相談内容別件数

1. 権利擁護	4
2. サービス利用	22
3. 認知症	0
4. 精神	4
5. 介護	32
6. 虐待	2
7. 医療	8
8 所得・生活	25
9. その他 (年金相談等等)	0
合計 (電話 43+訪問 49+来所 5=97)	97

●主な修繕工事等の報告

支払日	品名/品目	支払先	金額
5/31	雅荘 消防用設備改修（火災通報装置連動工事）	セコム(株)	280,800 円
6/30	雅荘 排煙窓網戸設置工事（8 ヲ所）	(株)山三	162,000 円
8/31	雅荘 非常放送設備修繕 電池交換工事	セコム(株)	135,000 円
12/31	雅荘 ガス：ペ-パ-ライザ 定期交換部品	(有)齊藤商事	350,244 円

●主な器具及び備品取得支出

支払日	品名/品目	支払先	金額
9/30	雅荘 介護用リフト つるべY6セット 2台	パナソニックエイジフリー ショップつくば	759,600 円

●車輛運搬具支出

支払日	品名/品目	支払先	金額
9/10	雅荘 車輛購入（リース満了につき買取り） ベルダ NO, 5525	芙蓉オートリース(株)	453,600 円

## ● 社会福祉法人スマイルケア居宅介護支援事業所

ご利用者、ご家族等の介護相談やケアプランの作成を行い利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が日常生活に対して安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあった生活支援を実施して参りました。サービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から信頼される質の高いサービス提供することができました。目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、成果を残すことが出来ました。職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行しております。

また、つくばみらい市や他市町村の委託にて要介護認定調査も実施しました。研修会等にも参加し、各自のスキルアップ、他の多くのケアマネージャーとの連携を図りました。市内のケアマネ会の役員や、認知症サポーターの講師も務め、地域福祉の向上に貢献しています。

### 居宅件数(ケアプラン作成)

年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護	160	158	152	156	157	159	158	167	159	154	167	163
要支援	21	19	19	22	21	24	25	25	25	23	24	23
合計	181	177	171	178	178	183	183	192	184	177	191	186

### 新規居宅数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	8	8	3	4	12	6	8	4	5	8	7

### 訪問調査 市町村別件数

市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
つくばみらい市	17	13	15	15	18	20	21	20	20	19	21	20
つくば市	3	5	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1
合計	20	18	17	15	18	21	22	20	20	21	21	21

### 職員状況 (平成 31 年 3 月末日時点)

職種	資格	常勤(名)	非常勤(名)	備考
管理者	介護支援専門員	1名	0名	介護支援専門員と兼務
介護支援専門員	介護支援専門員	4名	1名	うち1名管理者と兼務
合計		4名	1名	(全員5名)

## ● 社会福祉法人スマイルケア訪問介護事業所

指定訪問介護事業所として、訪問介護員等は、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行い、また事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めております。

### 訪問介護利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
77	84	83	83	89	94	97	100	101	98	107	111

### 新規利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3	6	1	7	6	6	7	3	3	5	7	8

### 市町村別利用者数

市町村別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常総市	15	16	17	18	20	20	22	20	20	21	24	24
つくば市	7	9	9	6	7	8	7	6	6	7	7	7
守谷市	12	13	12	15	16	17	18	21	21	19	21	27
坂東市	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3
つくばみらい市	42	45	44	43	45	48	48	51	52	49	53	50
合計	77	84	83	83	89	94	97	100	101	98	107	111

### 職員状況（平成31年3月末日時点）

職種	資格	常勤(名)	非常勤(名)	登録ヘルパー(名)	備考
管理者		1			サービス提供責任者と兼務
サービス提供責任者	介護福祉士	3			うち1名管理者と兼務
訪問介護員等	介護福祉士		3	2	
	ホームヘルパー	2	1	19	
事務員		2			
合計		7	4	21	(全員 32名)